

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-238744

(P2001-238744A)

(43) 公開日 平成13年9月4日(2001.9.4)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 7 B 88/00
88/20

識別記号

F I

A 4 7 B 88/00
88/20

テマコード* (参考)

Q 3 B 0 6 0

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-57956(P2000-57956)

(22) 出願日 平成12年2月29日(2000.2.29)

(71) 出願人 000001351

コクヨ株式会社

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

(72) 発明者 岸本 保

大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨ株式会社内

(72) 発明者 大坪 栄三

大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨ株式会社内

(74) 代理人 100101188

弁理士 山口 義雄

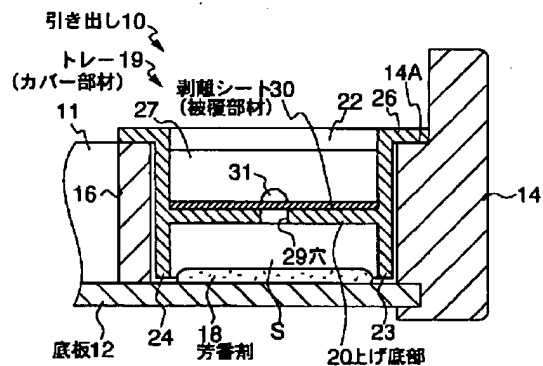
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 引き出しの芳香構造

(57) 【要約】

【課題】 引き出しの内部に芳香剤を配置して、芳香剤の芳香効果を長期に亘って継続させることができる引き出しの芳香構造を提供すること。

【解決手段】 上方を開放する引き出し10における底板12の内面側に芳香剤18が配置されるとともに、この芳香剤を覆うトレー19が設けられている。トレー19には、底板12との間に閉塞空間Sを形成可能な上げ底部20が設けられ、この上げ底部20には、芳香剤18の芳香成分を放出可能な穴29が設けられている。また、上げ底部20には、穴29を塞いで前記放出を規制可能に設けられた剥離シート30が貼付されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上方を開放した引き出しにおいて、前記引き出しの底板内面側に所定の芳香剤を配置するとともに、この芳香材を前記底板と相互に作用して覆うカバー部材を設け、

前記カバー部材は、前記芳香剤の芳香成分を放出可能な少なくとも一個の穴を備えるとともに、この穴を塞いで前記放出を規制可能な被覆部材が設けられていることを特徴とする引き出しの芳香構造。

【請求項2】 前記被覆部材は、前記穴に着脱自在に装着されるキャップにより構成されていることを特徴とする請求項1記載の引き出しの芳香構造。

【請求項3】 前記カバー部材は、前記底板との間に空間を形成可能な上げ底部を備え、この上げ底部に前記穴が形成されているトレイにより構成されていることを特徴とする請求項1又は2記載の引き出しの芳香構造。

【請求項4】 前記芳香剤は、森林樹木が放散する匂いの主体となるテルペンであることを特徴とする請求項1、2又は3記載の引き出しの芳香構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は引き出しの芳香構造に係り、更に詳しくは、所定の芳香効果を発揮することのできる引き出しの芳香構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、室内の空間内に配置することのできる各種の芳香剤が市販されている。この芳香剤は、所定の容器体に充填されており、含浸性を備えた部材の表出量を変化させること等によって芳香量が適宜調整可能となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の芳香剤は、専用の容器に充填されていることから、室内空間に存在する家具等に乗せて利用するより他はなく、これがため、家具類との質感や、色彩等の調度を図ることが困難となり、両者の装飾的バランスが不釣り合いとなって外観上の体裁を損なう虞がある。

【0004】また、前記芳香剤にあつては、含浸性を備えた部材の表出量を設定した後、当該表出量の調整を行うことが面倒になったり、忘れてしまったりする傾向が強い。これにより、気温や湿度に対応することなく前記表出量が一定となるため、無用な芳香成分の放出が行われてしまい、比較的短期間で芳香効果が薄れてしまうという不都合を生じる。

【0005】ところで、香料の種類には様々なものが存在するが、最近では、自然界に存在する香りを居室空間内に漂わせるという試みがなされるようになってきている。例えば、森林でほのかに漂う香りは、多くの人に対して、ストレスを解消させて安らぎを与える精神的作用が見られることから、人には心地よいものに感じられるも

のと了解されている。ここに、森林樹木が放散する匂いの主成分は、テルペン若しくはフィトンチッドと称される物質とされ、人に対して疲労感を和らげ、また、血行をよくするなどの作用をもっているとされている。

【0006】そこで、このようなテルペンを接着剤に含有させて当該接着剤で室内の壁面をクロス貼りする施工例が提案されている。

【0007】しかしながら、クロスの接着に際してテルペン含有の接着剤を用いた場合には、空気中にさらされる面積が大きいため、クロスの通気性と相俟って香りの放出速度が早くなる傾向があり、長期に亘って森林の香りを継続させることには必ずしも適していないという不都合がある。これは、クロス自体が閉塞性を有しないことに起因しているものと考えられる。特に、室内換気を定期的に行う場合には、このような不都合が一層顕著となる。

【0008】

【発明の目的】そこで、本発明の目的は、常時は閉塞状態に保たれる引き出しの内部に芳香剤を配置して、目立たない所から香りの放散をできるだけ長期に亘って継続させることができる引き出しの芳香構造を提供することにある。

【0009】また、本発明の他の目的は、芳香剤としてテルペンをを用い、当該テルペンの放散が人にもたらす前述の環境下で利用することのできる引き出しの芳香構造を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため、本発明は、上方を開放した引き出しにおいて、前記引き出しの底板内面側に所定の芳香剤を配置するとともに、この芳香材を前記底板と相互に作用して覆うカバー部材を設け、前記カバー部材は、前記芳香剤の芳香成分を放出可能な少なくとも一個の穴を備えるとともに、この穴を塞いで前記放出を規制可能な被覆部材が設けられる、という構成を採っている。このような構成によれば、被覆部材を取り外して使用することにより、芳香剤を収納するための特別な容器等を用いることなく、芳香剤の有する効果を発揮することができる。また、引き出しの底板内面側は、常時は外部より見えることなく閉塞性が保たれるので、目立たない所から長期に亘る芳香効果を確保することが可能となる。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明における前記被覆部材は、前記穴に着脱自在に装着されるキャップにより構成される、という構成も採用することができる。このような構成を採れば、キャップを取り外すことにより、引き出しの内側から芳香成分を放出させることができる。特に、穴が複数個設けられたものである場合には、取り外すキャップの数を調整することで、芳香量若しくは芳香速度を調整することが可能となる。また、放香を望まない時

には、キャップで穴を閉塞させておくこともできる。

【0012】また、前記カバー部材は、前記底板との間に空間を形成可能な上げ底部を備え、この上げ底部に前記穴が形成されているトレイにより構成される、という構成も好ましくは採用される。これにより、引き出しに一般的に用いられているトレイから香りを漂わせることができる。また、トレイ内に筆記具等を収納することにより、穴の開通面積を適当に狭くして芳香速度を遅らせることができ、これによっても、長期に亘る芳香を実現することが可能となる。

【0013】更に、前記芳香剤は、森林樹木が放散する匂いの主体となるテルペンを用いることが好ましい。これにより、テルペンがもたらす人への精神的作用を引き出しを利用する者に与えることができるようになり、引き出しを机等に適用した場合、例えば、個人差があるとしても、学習効果に少なからず寄与することが期待できる。

【0014】なお、本明細書において、特に明示しない限り、「前」は、引き出しの前面板側すなわち図3中右側について用いられ、「後」は、その反対側について用

いられる。

【0015】

【実施例】以下、本発明が学習机用の引き出しに適用された実施例を図面を参照しながら説明する。

【0016】〔第1実施例〕図1には、第1の実施例に係る引き出しの概略斜視図が示され、図2には、図1の分解斜視図が示されている。これらの図において、引き出し10は、左右一對の側板11、11と、これら側板11、11の底部間に配置された底板12と、各側板11及び底板12の前端側及び後端側に配置された前面板14及び図示しない後面板と、前面板14と略平行に配置された仕切り板16とを備えて構成されている。ここで、底板12の上面側における前面板14及び仕切り板16との間には、図3に示されるように、芳香剤18が配置され、この芳香剤18を覆うようにカバー部材としてのトレイ19が設けられている。

【0017】前記トレイ19は、上方を開放するとともに、内部に所定の収納空間を有する皿状の容器型に設けられている。このトレイ19は、図2及び図3に示されるように、前記芳香剤18の図中上方に位置するとともに、底板12と所定間隔を隔てて配置された上げ底部20と、この上げ底部20の長手方向両側に連なる一對のトレイ側面部22、22と、これらトレイ側面部22、22の前後両端側に連なるトレイ前面部23及びトレイ後面部24と、各トレイ側面部22、トレイ前面部23及びトレイ後面部24の上端側に連なってフランジ状に形成されたフランジ面部26と、上げ底部20の上面側に設けられたトレイ仕切り面部27とを備えて構成されている。フランジ面部26は、前記側板11、仕切り板16及び前面板14の段部14Aの上部に乗るように設

けられている。これにより、トレイ19と底板12とが相互に作用して上げ底部20の下面側に芳香剤18を収容することのできる閉塞空間Sが形成されることとなる。

【0018】前記上げ底部20の面内には、二個の穴29が設けられるとともに、これら穴29を通じて芳香剤18の芳香成分が放出可能に設けられている。上げ底部20の上面側には、被覆部材としての剥離シート30が弱い接着力をもって接着されており、この剥離シート30は、前記各穴29を塞いで芳香成分の放出を規制可能に設けられている。また、剥離シート30の一端側には、掘み代31（図3参照）が設けられており、これにより、当該剥離シート30の捲り取り作業をスムーズに行えるようになっている。

【0019】本実施例における芳香剤18は、樹木が放散する匂い成分であるテルペンをデンプン糊及び希釈用水に含有したものである。この芳香剤18は、テルペンの微粒子表面に当該テルペンの発散量を抑制する作用をなす表皮樹脂層でコーティングした二重構造の微粒子を、前記希釈用水に分散させてゲル状化するとよく、これにより、取扱を容易にしつつ匂いの放散期間を長期に亘って確保することができる。

【0020】以上の構成において、図3に示されるように、上げ底部20の上面側に接着された剥離シート30の掘み代31を指で掘んで剥がし取ることにより、図4に示されるように、各穴29が開通されて芳香剤18の香り成分の放出を許容することとなる。

【0021】従って、このような第1の実施例によれば、トレイ19の内部側から穴29を通じて芳香成分を放散可能な構成としたから、例えば、トレイ19内に筆記具を収納して使用する場合、当該筆記具にも芳香成分を転移することができ、引き出し10からだけでなく、筆記具からも芳香効果を得ることができる。また、トレイ19は、引き出し10内に置いてあるだけなので、当該トレイ19を容易に取り外すことができ、これにより、芳香量が少なくなったときに、芳香剤18の交換を容易に行うことが可能となる。

【0022】〔第2実施例〕次に、本発明の第2の実施例を図5を参照しながら説明する。なお、以下の説明において、前記第1の実施例と同一若しくは同等の構成部分については必要に応じて同一符号を用いるものとし、説明を省略若しくは簡略にする。

【0023】第2の実施例は、トレイ19を用いることなく底板12との間に一定の閉塞空間Sを形成可能なカバー部材34を用いたところに特徴を有するものである。カバー部材34は、引き出し10内に表れる底板12の略全領域に亘る平面積に設けられている。このカバー部材34は、底板12上に配置された芳香剤18を覆うように設けられ、芳香剤18より僅かに上方に位置するとともに、底板12より若干小さくなる平面積を有す

る上げ底部35と、この上げ底部35の外周側に連なって底板12上に配置される外周面部36とを備えて下向き凹状の断面形状を有する構成とされている。上げ底部35の面内には、芳香成分の放出を許容する複数の穴38が設けられており、これら穴38には、被覆部材としてのキャップ40が着脱自在にそれぞれ装着されている。

【0024】各キャップ40は、各穴38に装着された状態で当該穴38からの芳香成分の放出を規制可能に設けられており、穴38の内周径寸法と略同一外径寸法を備えた円筒部42と、この円筒部42の上端側に連なるとともに、当該円筒部42より大きい径寸法を有するヘッド部43とを備えて構成されている。

【0025】このような第2の実施例によれば、前記第1の実施例に比べ、引き出し10内における広い領域から香り成分を放出することが可能となる。また、カバー部材34を薄型に形成したから、その存在を邪魔に感じることなく引き出し10を使用することができ、且つ、目立たない所から香りを放散することができる。

【0026】なお、前記各実施例における穴29、38の形成数及び形成位置は、図示構成例に限定されるものでなく、所望の芳香速度や芳香成分の放出領域に適宜対応させて上げ底部20、35に穴29、38をそれぞれ設ければよい。また、穴29、38の形状は、丸穴状に形成した場合を図示、説明したが、本発明は、これに限定されるものでなく、引き出し10やトレイ19の機能を損なわない程度に、スリット状等大きい開通面積を有するものでもよい。

【0027】また、前記剥離シート30は、上げ底部20の上面側を殆ど覆うように設けた場合を図示、説明したが、本発明は、これに限られるものでなく、穴29の開口部分だけ塞ぐものであればよい。これにより、香りを放散させたい穴に設けられた剥離シートだけを剥がすことにより、放散速度を抑制することが可能となる。更に、前記各実施例において、引き出し10が学習机に適用された場合を説明したが、これに限定されず、各種家具の引き出しにも適用することができる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、芳香剤を底板と相互に作用して覆うカバー部材を設け、カバー

部材に芳香成分を放出可能な穴を設けたから、常時は閉塞状態となり、且つ、外部から見えない引き出しの内部から芳香成分を放散させることができ、香りの継続性を長期に亘って確保することができる。

【0029】また、被覆部材は、穴に装着されるキャップにより構成されているから、キャップを穴から外すことにより、香りを漂わせることができるばかりでなく、穴を複数個設けた場合には、取り外すキャップの数を調整することにより、芳香量及び芳香速度を調整することが可能となる。

【0030】更に、カバー部材をトレイにより構成した場合には、引き出しに広く用いられているトレイを利用して目立たない所から芳香成分を放散させることができる。また、トレイ内の収納物によって穴の開通面積を狭くして芳香量を適度に抑制することができ、これによっても、長期に亘る芳香効果を確保することができる。

【0031】また、芳香剤にテルペンを用いた構成では、テルペンがもたらす人への精神的作用を引き出しを有する家具や机等が配置された室内空間にいる者に広く与えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施例に係る引き出しの概略斜視図。

【図2】図1の分解斜視図。

【図3】図1のA-A線拡大断面図。

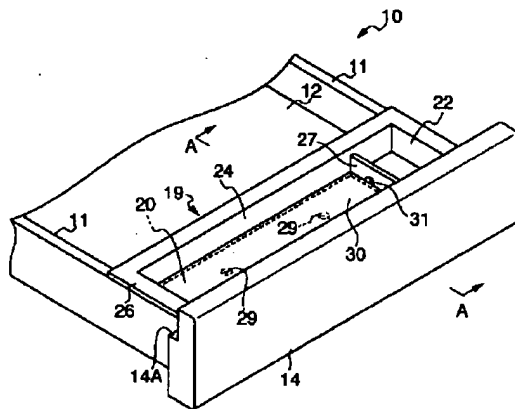
【図4】剥離シートを剥がした状態を示す図3と同様の断面図。

【図5】第2の実施例に係る引き出しを示す図3と同様の断面図。

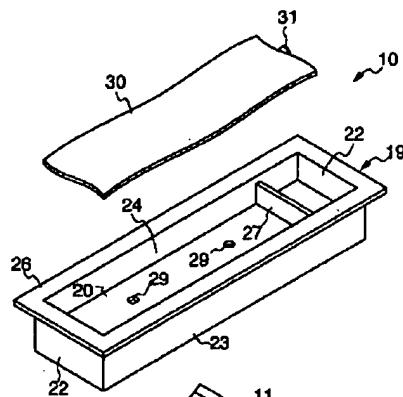
【符号の説明】

- 10 引き出し
- 12 底板
- 18 芳香剤
- 19 トレイ（カバー部材）
- 20 上げ底部
- 29 穴
- 30 剥離シート（被覆部材）
- 34 カバー部材
- 35 上げ底部
- 38 穴
- 40 キャップ（被覆部材）

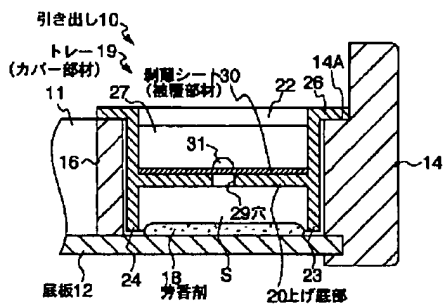
【図1】



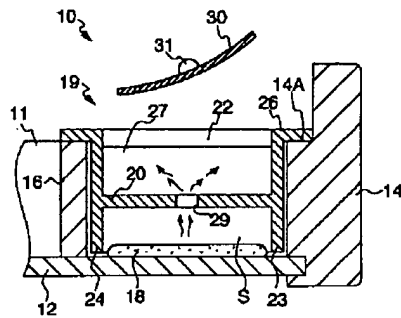
【図2】



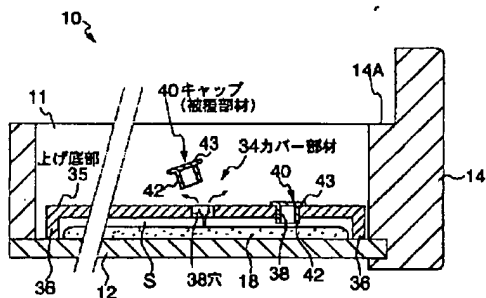
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 吉田 正勝
大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コ
クヨ株式会社内

(72)発明者 古川 紀輝
大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コ
クヨ株式会社内
Fターム(参考) 3B060 MB07

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)



Generate Collection

Print

L7: Entry 7 of 20

File: DWPI

Sep 4, 2001

DERWENT-ACC-NO: 2001-562829

DERWENT-WEEK: 200163

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Aroma structure for drawer has detachable cap for hole of tray mounted on drawer in which aromatic agent is arranged, such that cover is provided on top of tray

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

KOKUYO KK

KOKV

PRIORITY-DATA: 2000JP-0057956 (February 29, 2000)

Search Selected

Search ALL

Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

[JP 2001238744 A](#)

September 4, 2001

006

A47B088/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP2001238744A

February 29, 2000

2000JP-0057956

INT-CL (IPC): [A47 B 88/00](#); [A47 B 88/20](#)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001238744A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A drawer (10) has cover (30) for the hole (29) formed in the bottom (20) of a tray (19). The hole has a detachable cap. A stoppage space (s) is formed between a bottom board (12) and the bottom of tray. The aromatic agent (18) is in the bottom board.

USE - Drawer with aroma structure.

ADVANTAGE - Aroma is diffused from inside of drawer, such that aromatic agent is not visible from the exterior. Fragrance is secured for a long time due to stoppage space.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the cross section of an aroma structure in drawer. (Drawing includes non-English language text).

Drawer 10

Bottom boards 12

Aromatic agent 18

Tray 19

Bottom part 20

Hole 29

Covering member 30

Stoppage space s

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/5

TITLE-TERMS: AROMA STRUCTURE DRAWER DETACH CAP HOLE TRAY MOUNT DRAWER AROMATIC
AGENT ARRANGE COVER TOP TRAY

DERWENT-CLASS: P25

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-418937

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)